

第1回総会について

1) 演題発表について

- (1) スライドは、Power Point で作成し、USB フラッシュメモリディスクまたはCD-ROMに保存したものをお持ち込み下さい。(Windows, Macintosh どちらも対応可能ですが、御自分のPC以外の機器でも試写してからお持ち下さい。)
- (2) 発表 30 分前までに B1 会場スライド受付までご提出下さい。その際、試写 (出力確認) も必ず行ってください。使用したメディアは、画面確認後その場でご返却いたします。
- (3) プロジェクト責任者の総括の発表は司会の中でお願ひ致します。臨床プロジェクト計画・研究成果の発表 (1 日目) は 5 分、討論 5 分で、基礎プロジェクト計画・研究成果の発表 (2 日目) は 5 分、討論 5 分でお願ひ致します。時間厳守でお願ひします。
- (4) 資料を配布される場合には、150 部を 7 月 13 日午前中必着で IBD 班事務局までお送りいただくか当日 8 時 40 分までに B1 会場までお持ち下さい。

2) 発表データについて

厚生労働省への報告の必要上、発表スライドファイルを当日複製させていただきますことをご了承下さい。不都合のある先生におかれましては、事前に事務局まで御連絡お願ひします。

3) 会場セキュリティについて

- (1) 一階玄関ホール総会受付にて芳名録へご署名後、セキュリティカードをお受け取りいただき、改札を通過して地下一階会場へお進みください。
- (2) 館内はセキュリティ制ですのでセキュリティカードを必ず常時携帯してください。退出される際にはカードをご返却ください。カードの紛失があると全館内のセキュリティに支障を来しますので、くれぐれも紛失ならびにお持ち帰りにならないようご注意ください。

4) 懇親会について

今回は節電の影響により、中止の運びとなりました。

5) 駐車場について

駐車スペースはご用意しておりませんので、公共の交通機関をご利用ください。

6) 会場案内図 味の素(株)本社ビル 東京都中央区京橋 1-15-1 / Tel. 03-5250-8111



- ① JR「東京駅」八重洲中央口 (徒歩 10 分)
- ② 東京メトロ銀座線「京橋駅」6 番出口 (徒歩 5 分)
- ③ 都営浅草線「宝町駅」A-2 出口 (徒歩 3 分)
- ④ 東京メトロ日比谷線「八丁堀駅」北口 (徒歩 10 分)

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班
平成23年度第1回総会プログラム

(敬称略)

平成23年7月14日(木)

開会(9:00)

- I. 厚生労働省健康局疾病対策課挨拶 厚生労働省健康局疾病対策課: 中川 義章先生
II. 研究代表者挨拶・研究の進め方 研究代表者: 渡辺 守
III. 研究報告

Ⅱ-A) 疫学・研究成果公表プロジェクト

A-(1) 総括的疫学解析プロジェクト (9:20~9:50)

総括 武林 亨 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学

炎症性腸疾患の記述疫学 ―臨床調査個人票データより―

○桑原絵里加¹、村重綾彩¹、朝倉敬子¹、武林 亨¹、井上 詠²、渡辺 守³ (慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学¹、慶應義塾大学医学部消化器内科・包括先進医療センター²、東京医科歯科大学医学部消化器病態学³)

潰瘍性大腸炎発生に対するリスク因子 (多施設共同研究・症例対照研究)

○廣田良夫¹、大藤さとこ¹、福島若葉¹、山上博一²、渡辺憲治²、長堀正和³、渡辺 守³ (大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学¹、大阪市立大学大学院医学研究科消化器器官制御内科²、東京医科歯科大学消化器病態学³、For the Japanese Case-Control Study Group for Ulcerative Colitis.)

クローン病のリスク因子に関する多施設共同研究・症例対照研究 (研究計画)

○大藤さとこ¹、乾 未来¹、井出悠一郎¹、廣田良夫¹、山上博一²、渡辺憲治² (大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学¹、大阪市立大学大学院医学研究科消化器器官制御内科³)

A-(2) 患者視線に基づいた研究成果公表・広報活動プロジェクト (9:50~10:10)

総括 高後 裕 旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野

国民・患者・一般臨床医に対する啓発活動・広報活動・情報企画

渡辺 守¹、長堀正和¹、○高後 裕²、蘆田知史²、藤谷幹浩²、松本譽之³、中村志郎³、佐々木巖⁴、福島浩平⁵、松井敏幸⁶、岩男 泰⁷ (東京医科歯科大学消化器病態学¹、旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野²、兵庫医科大学内科学下部消化管科³、東北大学大学院医学系研究科外科病態学生態調節外科学⁴、東北大学大学院消化管再建医工学分野・分子病態外科学分野⁵、福岡大学筑紫病院消化器内科⁶、慶應義塾大学包括先進医療センター⁷)

専門医育成プログラムの創成

渡辺 守¹、長堀正和¹、○高後 裕²、蘆田知史²、藤谷幹浩²、松本譽之³、福永 健³、佐々木巖⁴、松井敏幸⁵、岩男 泰⁶、藤山佳秀⁷、辻川知之⁷ (東京医科歯科大学消化器病態学¹、旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野²、兵庫医科大学内科学下部消化管科³、東北大学大学院医学系研究科外科病態学生態調節外科学⁴、福岡大学筑紫病院消化器内科⁵、慶應義塾大学包括先進医療センター⁶、滋賀医科大学消化器内科⁷)

pB)臨床プロジェクト

B-(1) 診療標準化コアプロジェクト

B-(1)-1 潰瘍性大腸炎・クローン病の診断基準および重症度基準の改変 (10:10~10:30)

総括 松井敏幸 福岡大学筑紫病院消化器内科

クローン病診断基準の改定案 H22年度「多施設アンケート調査最終結果」

松井敏幸、○久部高司、平井郁仁 (福岡大学筑紫病院消化器内科)

潰瘍性大腸炎軽症例の考え方

○松井敏幸 (福岡大学筑紫病院消化器内科)

B-(1)-2 診療ガイドライン作成・改訂 (10:30~10:40)

総括 上野文昭 大船中央病院消化器肝臓病センター

クローン病診療ガイドライン厚生労働省研究班バージョンの最終審査

○上野文昭¹、松本譽之²、伊藤裕章³、井上 詠⁴、小林清典⁵、小林健二⁶、杉田 昭⁷、鈴木康夫⁸、野口善令⁹、渡邊聡明¹⁰、松井敏幸¹¹、渡辺 守¹²、正田良介¹³、樋渡信夫¹⁴、尾藤誠司¹⁵、日比紀文¹⁶、中山健夫¹⁷ (大船中央病院消化器肝臓病センター)、兵庫医科大学下部消化管科²、医療法人錦秀会インフュージョンクリニック³、慶應義塾大学消化器内科⁴、北里大学東病院消化器内科⁵、大船中央病院光学診療部⁶、横浜市立市民病院外科⁷、東邦大学医療センター佐倉病院内科⁸、名古屋第2赤十字病院総合内科⁹、帝京大学医学部外科¹⁰、福岡大学筑紫病院消化器内科¹¹、東京医科歯科大学消化器内科¹²、国立国際医療センター総合外来部¹³、いわき市立総合磐城共立病院¹⁴、独立行政法人国立病院機構本部研究課臨床疫学推進室¹⁵、慶應義塾大学消化器内科¹⁶、京都大学健康情報学¹⁷)

B-(1)-3 標準化を目指した治療指針の改訂 (10:40~11:10)

総括 松本譽之 兵庫医科大学内科下部消化管科

治療の標準化を目指した潰瘍性大腸炎治療指針の改訂

○松本譽之¹、杉田 昭²、余田 篤³、蘆田知史⁴、安藤 朗⁵、伊藤裕章⁶、押谷伸英⁷、金井隆典⁸、鈴木康夫⁹、長堀正和¹⁰、松井敏幸¹¹、佐々木巖¹²、友政 剛¹³、田尻 仁¹⁴、中村志郎¹、福永 健¹、樋田信幸¹ (兵庫医科大学内科学下部消化管科¹、横浜市民病院外科²、大阪医科大学小児科³、札幌東徳洲会病院 IBD センター⁴、滋賀医科大学消化器内科⁵、錦秀会インフュージョンクリニック⁶、泉大津市立病院消化器内科⁷、慶應義塾大学消化器内科⁸、東邦大学佐倉病院消化器病センター⁹、東京医科歯科大学消化器内科¹⁰、福岡大学筑紫病院消化器内科¹¹、東北大学生態調節外科¹²、パルこどもクリニック¹³、大阪府立急性期・総合医療センター小児科¹⁴)

治療の標準化を目指したクローン病治療指針の改訂

○松本譽之¹、杉田 昭²、余田 篤³、蘆田知史⁴、安藤 朗⁵、伊藤裕章⁶、押谷伸英⁷、金井隆典⁸、鈴木康夫⁹、長堀正和¹⁰、松井敏幸¹¹、佐々木巖¹²、友政 剛¹³、田尻 仁¹⁴、中村志郎¹、福永 健¹、樋田信幸¹ (兵庫医科大学内科学下部消化管科¹、横浜市民病院外科²、大阪医科大学小児科³、札幌東徳洲会病院 IBD センター⁴、滋賀医科大学消化器内科⁵、錦秀会インフュージョンクリニック⁶、泉大津市立病院消化器内科⁷、慶應義塾大学消化器内科⁸、東邦大学佐倉病院消化器病センター⁹、東京医科歯科大学消化器内科¹⁰、福岡大学筑紫病院消化器内科¹¹、東北大学生態調節外科¹²、パルこどもクリニック¹³、大阪府立急性期・総合医療センター小児科¹⁴)

潰瘍性大腸炎、クローン病外科治療指針の改訂

○杉田 昭¹、佐々木巖²、亀岡信悟³、島山勝義⁴、二見喜太郎⁵、根津理一郎⁶、藤井久男⁷、楠 正人⁸、舟山裕士⁹、渡邊聡明¹⁰、板橋道朗³、池内浩基¹¹、飯合恒夫⁴、松本譽之¹² (横浜市立市民病院外科¹、東北大学生体調節外科²、東京女子医科大学第二外科³、新潟大学消化器・一般外科⁴、福岡大学筑紫病院外科⁵、大阪労災病院外科⁶、奈良県立医科大学中央内視鏡超音波部⁷、三重大学消化管・小児外科学⁸、東北労災病院大腸肛門外科⁹、帝京大学外科¹⁰、兵庫医科大学下部消化管外科¹¹、兵庫医科大学内科学下部消化管科¹²)

B-(2) 画期的な診断・治療の開発プロジェクト ―診断面から―

B-(2)-1 新たなデバイスを用いたクローン病小腸病変の診断と治療 (11:10~11:40)

総括 松本主之 九州大学大学院病態機能内科学

新たなデバイスを用いたクローン病小腸病変の診断と治療：本年度の目標

○松本主之 (九州大学病態機能内科学)

クローン病小腸狭窄に対する内視鏡的拡張療法

松本主之¹、○平井郁仁²、松井敏幸² (九州大学病態機能内科学¹、福岡大学筑紫病院消化器内科²)

クローン病診断におけるCT enterographyの有用性についての検討

○竹内 健¹、花井洋行¹、松本主之² (浜松南病院消化器病IBDセンター¹、九州大学大学院医学研究院病態機能内科学²)

B-(2)-2 癌サーベイランス法の確立 (11:40~12:00)

総括 渡邊聡明 帝京大学医学部外科 (味岡洋一)

潰瘍性大腸炎に対する癌サーベイランス法の確立

○渡邊聡明¹、味岡洋一²、松本譽之³、武林 亨⁴、井上永介⁵、飯塚文瑛⁶、五十嵐正広⁷、岩男 泰⁸、大塚和朗⁹、工藤進英⁹、小林清典¹⁰、佐田美和¹⁰、田中信治¹¹、友次直輝¹²、樋田信幸³、平田一郎¹³、松本主之¹⁴、渡辺憲治¹⁵、上野文昭¹⁶、渡辺 守¹⁷、日比紀文¹⁸ (帝京大学医学部外科¹、新潟大学大学院医歯学総合研究科分子・診断病理学分野²、兵庫医科大学下部消化管科³、慶応義塾大学医学部衛生学公衆衛生学⁴、北里大学薬学部臨床統計⁵、東京女子医科大学消化器病センター⁶、癌研有明病院内科⁷、慶應義塾大学内科⁸、昭和大学横浜市北部病院消化器センター⁹、北里大学東病院内科¹⁰、広島大学病院内視鏡診療科¹¹、慶應義塾大学クリニカルリサーチセンター¹²、藤田保健衛生大学消化管内科¹³、九州大学大学院病態機能内科学¹⁴、大阪市立大学医学部消化器内科¹⁵、大船中央病院・消化器肝臓病センター¹⁶、東京医科歯科大学消化器病態学¹⁷、慶應義塾大学医学部消化器内科¹⁸)

クローン病に合併した大腸癌のsurveillance program確立の検討 (痔瘻癌を含む)

―多施設共同研究によるpreliminary study開始について―

○杉田 昭¹、小金井一隆¹、二見喜太郎²、舟山裕士³、池内浩基⁴、根津理一郎⁵、板橋道朗⁶、飯合恒夫⁷、荒木俊光⁸、渡邊聡明⁹、佐々木巖¹⁰ (横浜市立市民病院外科¹、福岡大学筑紫病院外科²、東北労災病院大腸肛門外科³、兵庫医科大学下部消化管外科⁴、大阪労災病院外科⁵、東京女子医科大学第2外科⁶、新潟大学消化器・一般外科⁷、三重大学消化管・小児外科学⁸、帝京大学外科⁹、東北大学生体調節外科¹⁰)

<昼食・幹事会> (12:00~13:00)

B-(3) 画期的な診断・治療の開発プロジェクト ―治療面から―

B-(3)-1 難治性潰瘍性大腸炎に対する新規治療の位置づけ (13:00~13:40)

総括 日比紀文 慶應義塾大学医学部消化器内科

クローン病に対するアダリムマブと免疫調節剤併用療法の検討

○松本主之¹、仲瀬裕志²、渡辺憲治³、久松理一⁴、本谷 聡⁵、蘆田知史⁶、鈴木康夫⁷、日比紀文⁴、渡辺 守⁸、伊藤裕章⁹、松本譽之¹⁰、松井敏幸¹¹ (九州大学病態機能内科学¹、京都大学消化器内科²、大阪市立大学消化器内科学³、慶應義塾大学医学部消化器内科⁴、札幌厚生病院IBDセンター⁵、札幌東徳洲会病院IBDセンター⁶、東邦大学医療センター佐倉病院内科⁷、東京医科歯科大学消化器内科⁸、医療法人錦秀会インフュージョンクリニック⁹、兵庫医科大学内科学下部消化管科¹⁰、福岡大学筑紫病院消化器内科¹¹)

ステロイド抵抗性重症潰瘍性大腸炎におけるタクロリムスとインフリキシマブの寛解導入効果の比較試験—多施設共同研究へ向けて—

○松岡克善、金井隆典、筋野智久、井上 詠、久松理一、三好 潤、米野和明、木村佳代子、丸山悠里子、三上洋平、高林 馨、水野慎大、佐藤俊朗、矢島知治、緒方晴彦、岩男 泰、日比紀文（慶應義塾大学消化器内科）

潰瘍性大腸炎モニタリングガイドライン作成のための実態調査について

○三好 潤、松岡克善、細江直樹、米野和明、筋野智久、三上洋平、高林 馨、木村佳代子、丸山悠里子、水野慎大、佐藤俊朗、矢島知治、井上 詠、久松理一、金井隆典、緒方晴彦、岩男 泰、日比紀文（慶應義塾大学消化器内科）

難治性直腸炎型潰瘍性大腸炎患者に対する漢方薬坐薬の有効性：前向き無作為割り付け二重盲検試験による検討（多施設共同研究に向けて）

○福永 健、應田義雄、樋田信幸、飯室正樹、吉田幸治、横山陽子、上小鶴孝二、河野友彰、河合幹夫、野上晃司、菊山梨紗、長瀬和子、堀 和敏、竹田直久、中村志郎、松本譽之（兵庫医科大学内科学下部消化管科）

B-(3)-2 適切な免疫調節剤投与法、infliximab 二次無効例に対する対処(13:40~14:00)

総括 鈴木康夫 東邦大学医療センター佐倉病院内科

インフリキシマブ2次無効例に対する対策

○鈴木康夫（東邦大学医療センター佐倉病院内科）

抗インフリキシマブ抗体測定法の問題点と新たな方法の開発

○安藤 朗¹、今枝広丞²、辻川知之³、青松友樹²、伴 宏充²、馬場重樹²、佐々木雅也⁴、藤山佳秀²（滋賀医科大学大学院消化器免疫¹、滋賀医科大学消化器内科²、滋賀医科大学総合内科³、滋賀医科大学附属病院栄養治療部⁴）

B-(3)-3 術後 Infliximab 併用による寛解維持効果 (14:00~14:10)

総括 佐々木巖 東北大学大学院生体調節外科分野

術後 Infliximab 併用による寛解維持効果

佐々木巖¹、羽根田祥¹、小川 仁¹、渡辺和宏¹、鈴木秀幸¹、武林 亨²、渡辺 守³、○福島浩平⁴、岡崎和一⁵、吉岡和彦⁶、仲瀬裕志⁷、長沼 誠⁸、井上 詠⁸、日比紀文⁸、千葉俊美⁹、本谷 聡¹⁰、池田 篤¹¹、荒木靖三¹²、太田章比古¹³、亀岡信悟¹⁴、加賀谷尚史¹⁵、山本隆行¹⁶、吉川周作¹⁷、嵩山敏男¹⁸、高木智久¹⁹、吉田 優²⁰、木内喜孝²¹、松田耕一郎²²、二見喜太郎²³、石黒 陽²⁴、後藤秀実²⁵、国崎玲子²⁶、木村英明²⁷、正木忠彦²⁷、伊藤裕章²⁸、渡邊聡明²⁹、上野義隆³⁰、鈴木康夫³¹、池内浩基³²、高橋賢一³³、舟山裕士³³、杉田 昭³⁴、荒木俊光³⁵、友次直輝³⁵、井上永介³⁷、樋渡信夫³⁸、飯島英樹³⁹、中村好宏⁴⁰、中村志郎⁴¹（東北大学大学院生体調節外科学分野¹、慶應義塾大学公衆衛生学²、東京医科歯科大学消化器病態学³、東北大学大学院消化管再建医工学・分子病態外科学分野⁴、関西医科大学内科学第三講座⁵、関西医科大学香里病院外科⁶、京都大学医学部附属病院内視鏡部⁷、慶應義塾大学医学部消化器内科⁸、岩手医科大学内科学講座⁹、JA 北海道厚生連札幌厚生病院 IBD センター¹⁰、北里大学医学部外科¹¹、大腸肛門病センターくるめ病院¹²、家田病院肛門科¹³、東京女子医科大学第二外科¹⁴、金沢大学消化器内科¹⁵、四日市社会保険病院外科¹⁶、医療法人健全会土庫病院奈良大腸肛門病センター¹⁷、鹿児島大学病院消化器内科¹⁸、京都府立医科大学大学消化器内科¹⁹、神戸大学大学院医学研究科内科学講座消化器内科学分野²⁰、東北大学高等教育開発推進センター保健管理センター²¹、富山県立中央病院内科²²、福岡大学筑紫病院外科²³、弘前大学医学部光学医療診療部²⁴、名古屋大学大学院医学研究科消化器内科学²⁵、横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患（IBD）センター²⁶、杏林大学消化器・一般外科²⁷、医療法人錦秀会インフュージョンクリニック²⁸、帝京大学外科²⁹、広島大学光学医療診療部³⁰、東邦大学医療センター佐倉病院内科³¹、兵庫医科大学下部消化管外科³²、東北労災病院大腸肛門外科³³、横浜市立市民病院外科³⁴、三重大学消化管・小児外科³⁵、慶應義塾大学クリニカルリサーチセンター³⁶、北里大学臨床統計部門³⁷、いわき市立総合磐城共立病院³⁸、大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学³⁹、防衛医科大学数学教室⁴⁰、兵庫医科大学下部消化管内科⁴¹）

B-③-4 外科治療法の現状と工夫 (14:10~15:00)

総括 佐々木巖 東北大学大学院生体調節外科分野

① の術後療法に関する調査研究

○佐々木巖¹、福島浩平¹、羽根田祥¹、渡辺和宏¹、鈴木秀幸¹、舟山裕士²、杉田 昭³、二見喜太郎⁴、畠山勝義⁵、藤井久男⁶、池内浩基⁷、小金井一隆³、飯合恒夫⁵、東大二郎⁴、吉岡和彦⁸、亀岡信悟⁹、渡邊聡明¹⁰、楠 正人¹¹、木内喜孝¹²、渡辺 守¹³ (東北大学大学院生体調節外科学分野¹、東北労災病院大腸肛門外科²、横浜市民病院外科³、福岡大学筑紫病院外科⁴、新潟大学消化器・一般外科⁵、奈良県立医科大学中央内視鏡・超音波部⁶、兵庫医科大学外科⁷、関西医科大学付属枚方病院外科⁸、東京女子医科大学第二外科⁹、帝京大学消化器外科¹⁰、三重大学消化管・小児外科学¹¹、東北大学大学院消化器内科学分野¹²、東京医科歯科大学大学院消化器病態学分野¹³)

Pouchitis 内視鏡アトラスの改訂終了と今後について

佐々木巖¹、杉田 昭²、二見喜太郎³、畠山勝義⁴、藤井久男⁵、池内浩基⁶、舟山裕士⁷、○福島浩平⁸、小金井一隆²、飯合恒夫⁴、東大二郎³、吉岡和彦⁹、亀岡信悟¹⁰、渡邊聡明¹¹、楠 正人¹²、高橋賢一⁷、羽根田祥¹、小川 仁¹、渡辺和宏¹、鈴木秀幸¹、渡辺 守¹³ (東北大学大学院生体調節外科学分野¹、横浜市民病院外科²、福岡大学筑紫病院外科³、新潟大学消化器・一般外科⁴、奈良県立医科大学中央内視鏡・超音波部⁵、兵庫医科大学外科⁶、東北労災病院大腸肛門外科⁷、東北大学大学院消化管再建医工学・分子病態外科学分野⁸、関西医科大学付属枚方病院外科⁹、東京女子医科大学第二外科¹⁰、帝京大学消化器外科¹¹、三重大学消化管・小児外科学¹²、東京医科歯科大学大学院消化器病態学分野¹³)

クローン病の術後長期経過における Intestinal failure (Short bowel syndrome) についての調査研究と対策

佐々木巖¹、○渡辺和宏¹、小川 仁¹、羽根田祥¹、福島浩平²、舟山裕士³、高橋賢一³、杉田 昭⁴、渡邊聡明⁵、池内浩基⁶、亀岡信悟⁷、楠 正人⁸、畠山勝義⁹、藤井久男¹⁰、二見喜太郎¹¹、吉岡和彦¹²、渡邊昌彦¹³、根津理一郎¹⁴、水島恒和¹⁵ (東北大学大学院生体調節外科学分野¹、東北大学大学院分子病態外科学分野・消化管再建医工学研究分野²、東北労災病院大腸肛門外科³、横浜市民病院外科⁴、帝京大学医学部消化器外科⁵、兵庫医科大学外科学⁶、東京女子医科大学第二外科⁷、三重大学大学院 消化管・小児外科学、新潟大学大学院消化器・一般外科⁹、奈良県立医科大学中央内視鏡・超音波部¹⁰、福岡大学筑紫病院外科¹¹、関西医科大学付属枚方病院外科¹²、北里大学医学部外科¹³、大阪労災病院外科¹⁴、大阪大学病院消化器外科¹⁵)

クローン病肛門部病変の診断と治療

○二見喜太郎¹、東大二郎¹、佐々木巖²、杉田 昭³ (福岡大学筑紫病院外科¹、東北大学大学院生体調節外科学分野²、横浜市民病院外科³)

就学期における潰瘍性大腸炎手術例の成績調査

藤井久男¹、○中川 正²、小山文一²、内本和晃²、中村信治²、植田 剛²、錦織直人²、中島祥介²、佐々木巖³、池内浩基⁴、大毛広喜⁵、亀岡信悟⁶、河野 透⁷、楠 正人⁸、杉田 昭⁹、中島清一¹⁰、中村利夫¹¹、名川弘一¹²、根津理一郎¹³、前田 清¹⁴、長谷川博俊¹⁵、畠山勝義¹⁶、二見喜太郎¹⁷、舟山裕士¹⁸、吉岡和彦¹⁹、渡邊聡明²⁰、渡邊昌彦²¹ (奈良県立医科大学病院附属中央内視鏡・超音波部¹、奈良県立医科大学消化器・総合外科²、東北大学大学院医学系研究科外科病態学生体調節外科学³、兵庫医科大学下部消化管外科⁴、広島大学病院消化器外科⁵、東京女子医科大学第二外科⁶、旭川医科大学第二外科⁷、三重大学大学院消化管・小児外科学⁸、横浜市民病院外科⁹、大阪大学医学部附属病院消化器外科¹⁰、浜松医科大学外科学第二講座¹¹、東京大学大学院医学系研究科腫瘍外科学¹²、大阪労災病院外科¹³、大阪市立大学大学院腫瘍外科¹⁴、慶應義塾大学医学部外科¹⁵、新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器・一般外科¹⁶、福岡大学筑紫病院外科¹⁷、東北労災病院外科・大腸肛門外科¹⁸、関西医科大学香里病院外科¹⁹、帝京大学外科²⁰、北里大学医学部外科²¹)

潰瘍性大腸炎術後回腸囊炎発症の予測における内視鏡的、組織学的評価に関する研究 (各個研究・誌上発表)

○岡本耕太郎¹、藤谷幹浩¹、伊藤貴博¹、上野伸展¹、富永素矢¹、稲場勇平¹、盛一健太郎¹、田邊裕貴¹、前本篤男²、蘆田知史²、高後 裕¹ (旭川医科大学内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野¹、旭川医科大学消化管再

B-(3)-5 外科治療の予後 (15:00~15:20)

総括 杉田 昭 横浜市立市民病院外科

クローン病術後経腸栄養療法の再発予防効果の検討 (RCT)

○杉田 昭¹、小金井一隆¹、木村英明²、佐々木巖³ (横浜市立市民病院外科¹、横浜市大市民総合医療センター炎症性腸疾患センター²、東北大学生体調節外科³)

クローン病人工肛門造設例の経過と合併症の検討 (多施設共同研究)

○杉田 昭¹、小金井一隆¹、二見喜太郎²、池内浩基³、木村英明⁴、池田 篤⁵、根津理一郎⁶、大毛広喜⁷、水島恒和⁸、前田 清⁹、河野 透¹⁰、中村和夫¹¹、藤井久男¹²、舟山裕士¹³、飯合恒夫¹⁴、渡邊聡明¹⁵、篠崎 大¹⁶、佐々木巖¹⁷ (横浜市立市民病院外科¹、福岡大学筑紫病院外科²、兵庫医科大学下部消化管外科³、横浜市大市民総合医療センター炎症性腸疾患センター⁴、北里大学東病院消化器外科⁵、大阪労災病院外科⁶、広島大学外科⁷、大阪大学消化器外科⁸、大阪市立大学腫瘍外科⁹、旭川医科大学外科¹⁰、浜松大学第2外科¹¹、奈良県立医科大学中央内視鏡超音波部¹²、東北労災病院大腸肛門外科¹³、新潟大学消化器・一般外科¹⁴、帝京大学外科¹⁵、東京医科学研究所外科¹⁶、東北大学生体調節外科¹⁷)

〈コーヒーブレイク〉 (15:20~15:40)

B-(4) 診療に伴う合併症/副作用および特殊型への対策プロジェクト

B-(4)-1 潰瘍性大腸炎合併サイトメガロウイルス腸炎の診断と治療コンセンサス作製 (15:40~15:50)

総括 鈴木康夫 東邦大学医療センター佐倉病院内科

潰瘍性大腸炎に合併するCMV腸炎の症例集作成 (最終報告)

○鈴木康夫¹、石黒 陽²、仲瀬裕志³、大宮美香⁴、平井郁仁⁵、山田哲弘¹、松岡克善⁶、長沼 誠⁷、渡辺 守⁷ (東邦大学医療センター佐倉病院内科¹、弘前大学光学医療診療部²、京都大学消化器内科³、関西医科大学香里病院消化器内科⁴、福岡大学筑紫病院消化器科⁵、慶應義塾大学医学部消化器内科⁶、東京医科歯科大学消化器内科⁷)

炎症性腸疾患に合併するCMV腸炎の内視鏡的特徴は存在するのか? (各個研究・誌上発表)

○飯田貴之、渡辺文利、竹内 健、阿部二郎、池谷賢太郎、花井洋行 (浜松南病院 消化器病・IBDセンター)

B-(4)-2 炎症性腸疾患にともなう感染症の現状とその対策 (15:50~16:10)

総括 岡崎和一 関西医科大学 消化器・肝臓内科

我が国における炎症性腸疾患の急性増悪・再燃因子の前向き実態調査 (特に感染症との関連性)

岡崎和一¹、○大宮美香¹、藤山佳秀²、千葉 勉³、高後 裕⁴、松井敏幸⁵、松本譽之⁶、平田一郎⁷、鈴木康夫⁸、花井洋行⁹、清水誠治¹⁰、渡辺憲治¹¹、藤井久男¹²、坪内博仁¹³、日比紀文¹⁴、渡辺 守¹⁵ (関西医科大学内科学第三講座¹、滋賀医科大学内科学講座消化器内科²、京都大学大学院医学研究科消化器内科学³、旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野⁴、福岡大学筑紫病院消化器内科⁵、兵庫医科大学内科学下部消化管科⁶、藤田保健衛生大学消化管内科⁷、東邦大学医療センター佐倉病院内科⁸、浜松南病院消化器病・IBDセンター⁹、JR大阪鉄道病院消化器内科¹⁰、大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学¹¹、奈良県立医科大学附属病院中央内視鏡・超音波部¹²、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科消化器疾患・生活習慣病学分野¹³、慶應義塾大学医学部内科学¹⁴、東京医科歯科大学消化器病態学¹⁵)

炎症性腸疾患患者におけるインフルエンザワクチンの免疫原性・安全性・有効性に関する研究 (中間報告)

～「インフルエンザおよび近年流行が問題となっている呼吸器感染症の分析疫学研究：廣田班」との共同研究～

○山上博一¹、大藤さとこ²、伊藤良恵¹、渡辺憲治¹、荒川哲男¹、廣田良夫² (大阪市立大学大学院医学研究科消化器

内科学¹、公衆衛生学²)

B-(4)-3 炎症性腸疾患に合併するリンパ増殖性疾患の現状 (16:10~16:20)

総括 岡崎和一 関西医科大学 消化器肝臓内科

我が国における IBD 患者のリンパ増殖性疾患の現状に関する実態調査

岡崎和一¹、○深田憲将¹、松下光伸¹、大宮美香¹、渡辺 守² (関西医科大学内科学第三講座¹、東京医科歯科大学消化器病態学²)

B-(4)-4 炎症性腸疾患患者の妊娠出産における現状とその対策 (16:20~16:30)

総括 三浦総一郎 防衛医科大学校

妊娠出産の転帰と治療内容に関する多施設共同研究の状況

三浦総一郎¹、○穂苅量太¹、長沼 誠²、渡辺 守²、藤盛健二³、飯塚文瑛⁴、国崎玲子⁵、本谷 聡⁶、樋田信幸⁷、松本譽之⁷、松岡克善⁸、日比紀文⁸ (防衛医科大学校内科学¹、東京医科歯科大学消化器内科²、埼玉医大消化器肝臓内科³、東京女子医科大学 IBD センター⁴、横浜市立大学市民総合医療センター・炎症性腸疾患センター⁵、札幌厚生病院第一消化器科 IBD センター⁶、兵庫医科大学内科学下部消化管科⁷、慶應義塾大学消化器内科⁸)

B-(4)-5 高齢発症炎症性腸疾患患者の治療指針の必要性 (16:30~16:40)

総括 三浦総一郎 防衛医科大学校

高齢者炎症性腸疾患診療の現状把握 -過去の入院患者に関する多施設へのアンケート調査から-

三浦総一郎¹、○高本俊介¹、穂苅量太¹、渡辺知佳子¹、田中浩紀¹、本谷 聡²、鈴木健司³、松田圭二⁴、渡邊聡明⁴、猿田雅之⁵、吉村直樹⁶、長堀正和⁷、渡辺 守⁷、松岡克善⁸、日比紀文⁸、横山 薫⁹、小林清典⁹、谷田諭史¹⁰、馬場重樹¹¹、藤山佳秀¹¹、内藤裕志¹²、山上博一¹³、渡辺憲治¹³、飯島英樹¹⁴、樋田信幸¹⁵、松本譽之¹⁵、永井健太¹⁶、上野義隆¹⁶、田中信治¹⁶、石原俊治¹⁷、池上幸治¹⁸、松本主之¹⁸、高橋清彦¹⁹、松井敏幸¹⁹、二見喜太郎²⁰、瀬戸山仁²¹、藤田 浩²¹、坪内博仁²¹、松本文弘²² (防衛医科大学校内科学講座¹、札幌厚生病院 IBD センター²、新潟大学医学部第3内科³、帝京大学医学部外科⁴、慈恵会医科大学附属病院消化器・肝臓内科⁵、社会保険中央病院内科⁶、東京医科歯科大学消化器内科⁷、慶應義塾大学医学部消化器内科⁸、北里大学東病院消化器内科⁹、名古屋市立大学病院消化器内科¹⁰、滋賀医科大学消化器内科¹¹、京都府立医科大学消化器内科¹²、大阪市立大学病院消化器内科¹³、大阪大学医学部附属病院消化器内科¹⁴、兵庫医科大学内科学下部消化管科¹⁵、広島大学病院内視鏡診療科¹⁶、島根医科大学消化器内科¹⁷、九州大学病院消化器内科¹⁸、福岡大学筑紫病院消化器内科¹⁹、福岡大学筑紫病院外科²⁰、鹿児島大学医学部附属病院消化器内科²¹、自治医科大学附属さいたま医療センター消化器科²²)

事務局連絡

(16:50 終了予定)

懇親会 なし

平成23年7月15日(金)

III. 研究報告(続)

p-C) 基礎プロジェクト

C-(1) 診療に有用なバイオマーカー開発

C-(1)-1 免疫関連バイオマーカーの開発

総括 千葉 勉 京都大学消化器内科(竹田 潔) (9:00~9:30)

炎症性腸疾患のバイオマーカーとしての Leucine-rich alpha 2 glycoprotein の有用性

○飯島英樹¹、世良田 聡²、仲 哲治²、寺部文隆^{1,2}、新崎信一郎¹、辻井正彦¹、竹原徹郎¹ (大阪大学大学院医学系研究科・消化器内科学¹、独立行政法人 医薬基盤研究所 免疫シグナルプロジェクト部門²)

DSS誘発性モデルマウスにおける病態制御性樹状細胞の検討

岡崎和一¹、○栗島亜希子¹、星野勝一¹、稲葉宗夫² (関西医科大学内科学第三講座¹、関西医科大学内科学第一講座²)

腸炎惹起性メモリーCD4+T細胞を標的とした炎症性腸疾患根治療法の開発

○根本泰宏、金井隆典、渡辺 守 (東京医科歯科大学消化器病態学)

総括 竹田 潔 大阪大学大学院医学系研究科 (9:30~10:00)

自然免疫系による腸管炎症の制御機構

○竹田 潔、香山尚子 (大阪大学大学院医学系研究科)

クローン病および潰瘍性大腸炎におけるオートタキシン(Autotaxin)の関与

○八月朔日秀明、穂苅量太、三浦総一郎 (防衛医科大学校内科学²)

胆汁酸によるマクロファージ分化制御機構の解明

○米野和明、市川理子、久松理一、松岡克善、佐藤俊朗、矢島知治、井上 詠、金井隆典、緒方晴彦、岩男 泰、日比紀文 (慶応義塾大学医学部消化器内科)

C-(1)-2 臨床的バイオマーカーの開発 (10:00~10:10)

総括 日比紀文 慶応義塾大学医学部消化器内科

炎症性腸疾患における Th1 反応の意義

○石黒 陽¹、蓮井圭介²、櫻庭裕丈²、平賀寛人²、福田眞作^{1,2} (弘前大学医学部附属病院光学医療診療部¹、弘前大学医学部消化器血液内科²)

C-(1)-3 疾患特異的バイオマーカーの開発 (10:10~10:30)

総括 坪内博仁 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科消化器疾患・生活習慣病学

潰瘍性大腸炎バイオマーカー-human neutrophil peptide の腸管における生理的役割

坪内博仁¹、○寄山敏男¹、前田拓郎¹、沼田正嗣¹、藤田浩¹、児玉眞由美²、大井秀久³ (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 消化器疾患・生活習慣病学¹、宮崎医療センター病院 消化器肝臓病センター²、今村病院 消化器内科³)

allele 解析からみた薬物代謝酵素遺伝子多型による免疫調節剤の有効性、安全性バイオマーカーの探索 ; SLC38A9 の有用性と今後の展望

内藤裕二、高木智久、○内山和彦 (京都府立医科大学消化器内科)

C-(1)-4 腸内細菌関連バイオマーカーの開発 (10:30~10:40)

総括 藤山佳秀 滋賀医科大学消化器内科

新規乳酸菌由来の活性物質を用いた炎症性腸疾患治療の開発

○藤谷幹浩¹、上野伸展¹、岡本耕太郎¹、奈田利恵¹、盛一健太郎¹、前本篤男^{2,3}、蘆田知史^{2,3}、高後 裕¹ (旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野¹、旭川医科大学消化管再生修復医学講座²、札幌東徳州会病院 IBD センタ

G-(1)-5 炎症による発癌バイオマーカーの開発 (10:40~11:00)

総括 味岡洋一 新潟大学院医歯学総合研究科分子診断病理学分野

潰瘍性大腸炎関連大腸癌の発癌過程における DNA 損傷応答の意義

○高林広明¹、若井俊文²、味岡洋一¹、山口尚之¹、(新潟大学教育研究院医歯学系分子・診断病理学¹、新潟大学教育研究院医歯学系小児外科分野²)

MSC 依存性血管新生と Activation-induced Cytidine Deaminase

○ 那須野正尚¹、有村佳昭¹、渡邊秀平¹、永石敏和²、苗代康可³、篠村恭久¹、今井浩三⁴ (札幌医科大学第一内科¹、札幌医科大学第二解剖²、札幌医科大学医療人育成センター³、東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 癌制御分野⁴)

G-(2) 粘膜修復機構解析と治療応用 (11:00~11:20)

総括 今井浩三 東京大学医科学研究所先端医療研究センター癌制御分野

骨髄間葉系幹細胞由来 gut trophic factor の探索

○ 渡邊秀平¹、永石敏和²、那須野正尚¹、苗代康可³、有村佳昭¹、篠村恭久¹、今井浩三⁴ (札幌医科大学第一内科¹、札幌医科大学第二解剖²、札幌医科大学医療人育成センター³、東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 癌制御分野⁴)

大腸上皮幹細胞培養とその臨床応用技術開発

○中村哲也、油井史郎、根本泰宏、水谷知裕、鄭 秀、永石宇司、岡本隆一、土屋輝一郎、渡辺 守 (東京医科歯科大学消化器病態学)

事務局連絡

閉会挨拶

(11:30 終了予定)

厚生労働科学研究 難治性疾患克服研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」
平成 23 年度第 2 回総会プログラム

期日 平成 24 年 1 月 26 日 (木) 9:00~17:00

1 月 27 日 (金) 9:00~12:00

場所 味の素(株)本社ビル (東京都中央区京橋 1-15-1)

研究代表者 渡辺 守

(東京医科歯科大学消化器病態学)

事務局 東京医科歯科大学消化器病態学

担当 長堀 正和・中村 哲也

TEL: 03-5803-5877 FAX: 03-5803-0268

E-mail: ibd.gast@tmd.ac.jp

第2回総会について

1) 演題発表について

- (1) スライドは、Power Point で作成し、USB フラッシュメモリディスクまたはCD-ROMに保存したものをお持ち下さい。(Windows, Macintosh どちらも対応可能ですが、御自分のPC以外の機器でも試写してからお持ち下さい。)
- (2) 発表 30 分前までに B1 会場スライド受付までご提出下さい。その際、試写 (出力確認) も必ず行ってください。使用したメディアは、画面確認後その場でご返却いたします。
- (3) プロジェクト責任者の総括の発表は司会の中でお願い致します。臨床プロジェクト計画・研究成果の発表 (1 日目) は 5 分、討論 5 分で、基礎プロジェクト計画・研究成果の発表 (2 日目) は 4 分、討論 4 分でお願い致します。時間厳守をお願いします。
- (4) 資料を配布される場合には、150部を1月25日午前中必着でIBD班事務局までお送りいただくか当日8時40分までにB1会場までお持ち下さい。

2) 発表データについて

厚生労働省への報告の必要上、発表スライドファイルを当日複製させていただきますことをご了承下さい。不都合のある先生におかれましては、事前に事務局まで御連絡をお願いします。

3) 会場セキュリティについて

- (1) 一階玄関ホール総会受付にて芳名録へご署名後、セキュリティカードをお受け取りいただき、改札を通って地下一階会場へお進みください。
- (2) 館内はセキュリティ制ですのでセキュリティカードを必ず常時携帯してください。退出される際にはカードをご返却ください。カードの紛失があると全館内のセキュリティに支障を来しますので、くれぐれも紛失ならびにお持ち帰りにならないようご注意ください。

4) 懇親会について

1月26日会議終了後、12階カフェテリアにて懇親会を予定しております。

5) 駐車場について

駐車スペースはご用意しておりませんので、公共の交通機関をご利用ください。

6) 会場案内図 味の素(株)本社ビル 東京都中央区京橋 1-15-1 / Tel. 03-5250-8111



- ① JR「東京駅」八重洲中央口 (徒歩 10 分)
- ② 東京メトロ銀座線「京橋駅」6 番出口 (徒歩 5 分)
- ③ 都営浅草線「宝町駅」A-2 出口 (徒歩 3 分)
- ④ 東京メトロ日比谷線「八丁堀駅」北口 (徒歩 10 分)

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班
平成23年度第2回総会プログラム

(敬称略)

平成24年1月26日(木)

開会(9:00)

- I. 厚生労働省健康局疾病対策課挨拶 厚生労働省健康局疾病対策課: 中川 義章 先生
II. 研究代表者挨拶・研究の進め方 研究代表者: 渡辺 守
III. 研究報告

ⅡA) 疫学・研究成果公表プロジェクト

A-① 総括的疫学解析プロジェクト (9:20~9:50)

総括 武林 亨 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学

炎症性腸疾患の記述疫学 ―臨床調査個人票データより―

○桑原絵里加¹、朝倉敬子¹、武林亨¹、井上 詠²、渡辺 守³ (慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学¹、慶應義塾大学医学部消化器内科・包括先進医療センター²、東京医科歯科大学医学部消化器病態学³)

潰瘍性大腸炎発生に対するリスク因子(多施設共同研究・症例対照研究)

○大藤さとし¹、福島若葉¹、廣田良夫¹、山上博一²、渡辺憲治²、長堀正和³、渡辺 守³ (大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学¹、大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科²、東京医科歯科大学消化器病態学³、For the Japanese Case-Control Study Group for Ulcerative Colitis.)

クローン病のリスク因子に関する多施設共同研究・症例対照研究(進捗報告)

○大藤さとし¹、乾 未来¹、井出悠一郎¹、廣田良夫¹、山上博一²、渡辺憲治²、長堀正和³、渡辺 守³ (大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学¹、大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科²、東京医科歯科大学消化器病態学³、For the Japanese Case-Control Study Group for Crohn's disease.)

A-② 患者視線に基づいた研究成果公表・広報活動プロジェクト (9:50~10:10)

総括 高後 裕 旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野(渡辺 守)

全国における国民・患者・一般臨床医に対する啓発・広報活動の実施結果の解析

渡辺 守¹、長堀正和¹、○高後 裕²、蘆田知史³、藤谷幹浩²、松本譽之⁴、中村志郎⁴、佐々木巖⁵、福島浩平⁶、松井敏幸⁷、岩男 泰⁸ (東京医科歯科大学消化器病態学¹、旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野²、札幌東徳洲会病院 IBDセンター³、兵庫医科大学内科学下部消化管科⁴、東北大学大学院医学系研究科外科病態学生態調節外科学⁵、東北大学大学院消化管再建医工学分野・分子病態外科学分野⁶、福岡大学筑紫病院消化器内科⁷、慶應義塾大学包括先進医療センター⁸)

IBDを専門とする消化器医に求められる育成プログラムの開発

渡辺 守¹、長堀正和¹、○高後 裕²、蘆田知史³、藤谷幹浩²、松本譽之⁴、福永 健⁴、佐々木巖⁵、松井敏幸⁶、岩男 泰⁷、藤山佳秀⁸、辻川知之⁸ (東京医科歯科大学消化器病態学¹、旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野²、札幌東徳洲会病院 IBDセンター³、兵庫医科大学内科学下部消化管科⁴、東北大学大学院医学系研究科外科病態学生態調節外科学⁵、福岡大学筑紫病院消化器内科⁶、慶應義塾大学包括先進医療センター⁷、滋賀医科大学消化器内科⁸)

pB)臨床プロジェクト

B-(1) 診療標準化コアプロジェクト

B-(1)-1 潰瘍性大腸炎・クローン病の診断基準および重症度基準の改変 (10:10~10:20)

総括 松井敏幸 福岡大学筑紫病院消化器内科

クローン病診断基準案の改訂、基準の見直し

松井敏幸、○久部高司、平井郁仁 (福岡大学筑紫病院消化器内科)

B-(1)-2 診療ガイドライン作成・改訂 (10:20~10:30)

総括 上野文昭 大船中央病院消化器肝臓病センター

潰瘍性大腸炎診療ガイドラインの改訂計画；日本消化器病学会との共同開発

○上野文昭¹、松井敏幸²、野口善令³、渡辺 守⁴ (大船中央病院¹、福岡大学筑紫病院消化器内科²、名古屋第二赤十字病院総合内科³、東京医科歯科大学消化器病態学⁴)

B-(1)-3 標準化を目指した治療指針の改訂 (10:30~11:00)

総括 松本譽之 兵庫医科大学内科下部消化管科

治療の標準化を目指した潰瘍性大腸炎治療指針の改訂

○松本譽之¹、杉田 昭²、余田 篤³、蘆田知史⁴、安藤 朗⁵、伊藤裕章⁶、押谷伸英⁷、金井隆典⁸、鈴木康夫⁹、長堀正和¹⁰、松井敏幸¹¹、佐々木巖¹²、友政 剛¹³、田尻 仁¹⁴、中村志郎¹、福永 健¹、樋田信幸¹ (兵庫医科大学内科学下部消化管科¹、横浜市民病院外科²、大阪医科大学小児科³、札幌東徳洲会病院 IBD センター⁴、滋賀医科大学消化器内科⁵、錦秀会インフュージョンクリニック⁶、泉大津市立病院消化器内科⁷、慶応義塾大学消化器内科⁸、東邦大学佐倉病院消化器病センター⁹、東京医科歯科大学消化器内科¹⁰、福岡大学筑紫病院消化器内科¹¹、東北大学生態調節外科¹²、パルこどもクリニック¹³、大阪府立急性期・総合医療センター小児科¹⁴)

治療の標準化を目指したクローン病治療指針の改訂

○松本譽之¹、杉田 昭²、余田 篤³、蘆田知史⁴、安藤 朗⁵、伊藤裕章⁶、押谷伸英⁷、金井隆典⁸、鈴木康夫⁹、長堀正和¹⁰、松井敏幸¹¹、佐々木巖¹²、友政 剛¹³、田尻 仁¹⁴、中村志郎¹、福永 健¹、樋田信幸¹ (兵庫医科大学内科学下部消化管科¹、横浜市民病院外科²、大阪医科大学小児科³、札幌東徳洲会病院 IBD センター⁴、滋賀医科大学消化器内科⁵、錦秀会インフュージョンクリニック⁶、泉大津市立病院消化器内科⁷、慶応義塾大学消化器内科⁸、東邦大学佐倉病院消化器病センター⁹、東京医科歯科大学消化器内科¹⁰、福岡大学筑紫病院消化器内科¹¹、東北大学生態調節外科¹²、パルこどもクリニック¹³、大阪府立急性期・総合医療センター小児科¹⁴)

潰瘍性大腸炎、クローン病外科治療指針の改訂

○杉田 昭¹、佐々木巖²、亀岡信悟³、畠山勝義⁴、二見喜太郎⁵、根津理一郎⁶、藤井久男⁷、楠 正人⁸、舟山裕士⁹、渡邊聡明¹⁰、板橋道朗³、池内浩基¹¹、飯合恒夫⁴、松本譽之¹² (横浜市民病院外科、東北大学生体調節外科、東京女子医大第二外科³、新潟大学消化器・一般外科⁴、福岡大学筑紫病院外科⁵、大阪労災病院外科⁶、奈良県立医科大学中央内視鏡超音波部⁷、三重大学消化管・小児外科学⁸、東北労災病院大腸肛門外科⁹、帝京大学外科¹⁰、兵庫医科大学下部消化管外科¹¹、兵庫医科大学下部消化管科¹²)

B-(2) 画期的な診断・治療の開発プロジェクト ー診断面からー

B-(2)-1 新たなデバイスを用いたクローン病小腸病変の診断と治療 (11:00~11:30)

総括 松本主之 九州大学大学院病態機能内科学

クローン病小腸狭窄に対する内視鏡的拡張療法 一前向き試験の登録状況、IRB 審査の現状ほかー

○平井郁仁¹、松井敏幸¹、松本主之² (福岡大学筑紫病院消化器内科¹、九州大学病態機能内科学²)

クローン病診断における CT enterography の有用性についての検討 一前向き検査へ向けてー

○松本主之¹、竹内 健²、花井洋行² (九州大学大学院医学研究院病態機能内科学¹、浜松南病院消化器病 IBD センター²)

B-(2)-2 癌サーベイランス法の確立 (11:30~11:50)

総括 渡邊聡明 帝京大学医学部外科 (味岡洋一)

潰瘍性大腸炎に対する癌サーベイランス法の確立

○渡邊聡明¹、味岡洋一²、松本譽之³、武林 亨⁴、井上永介⁵、飯塚文瑛⁶、五十嵐正広⁷、岩男 泰⁸、大塚和朗⁹、工藤進英⁹、小林清典¹⁰、佐田美和¹⁰、田中信治¹¹、友次直輝¹²、樋田信幸³、平田一郎¹³、松本主之¹⁴、渡辺憲治¹⁵、上野文昭¹⁶、渡辺 守¹⁷、日比紀文¹⁸ (帝京大学医学部外科¹、新潟大学大学院医歯学総合研究科分子・診断病理学分野²、兵庫医科大学下部消化管科³、慶応義塾大学医学部衛生学公衆衛生学⁴、北里大学薬学部臨床統計⁵、東京女子医科大学消化器病センター⁶、癌研有明病院内科⁷、慶應義塾大学内科⁸、昭和大学横浜市北部病院消化器センター⁹、北里大学東病院内科¹⁰、広島大学病院内視鏡診療科¹¹、慶應義塾大学クリニカルリサーチセンター¹²、藤田保健衛生大学消化管内科¹³、九州大学大学院病態機能内科学¹⁴、大阪市立大学医学部消化器内科¹⁵、大船中央病院・消化器肝臓病センター¹⁶、東京医科歯科大学消化器病態学¹⁷、慶應義塾大学医学部消化器内科¹⁸)

クローン病に合併した大腸癌の surveillance program 確立の検討 (痔瘻癌を含む)

一多施設共同研究による pilot study について (中間報告) 一

○杉田 昭¹、小金井一隆¹、二見喜太郎²、舟山裕士³、池内浩基⁴、根津理一郎⁵、板橋道朗⁶、飯合恒夫⁷、荒木俊光⁸、渡邊聡明⁹、佐々木巖¹⁰ (横浜市立市民病院外科¹、福岡大学筑紫病院外科²、東北労災病院大腸肛門外科³、兵庫医科大学下部消化管外科⁴、大阪労災病院外科⁵、東京女子医科大学第2外科⁶、新潟大学消化器・一般外科⁷、三重大学消化管・小児外科学⁸、帝京大学外科⁹、東北大学生体調節外科¹⁰)

<昼食・幹事会> (12:00~13:00)

B-(3) 画期的な診断・治療の開発プロジェクト 一治療面から一

B-(3)-1 難治性潰瘍性大腸炎に対する新規治療の位置づけ (13:00~13:30)

総括 日比紀文 慶應義塾大学医学部消化器内科

潰瘍性大腸炎に対する tacrolimus と infliximab の治療効果比較試験 一多施設共同研究に向けてのプロトコール作成一

○松岡克善¹、筋野智久¹、金井隆典¹、日比紀文¹、長沼 誠²、渡辺 守²、樋田信幸³、松浦 稔⁴、猿田雅之⁵、朝倉敬子⁶ (慶應義塾大学消化器内科¹、東京医科歯科大学消化器病態学²、兵庫医科大学内科下部消化管科³、京都大学医学部消化器内科⁴、東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科⁵、慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学⁶)

難治性潰瘍性大腸炎患者の維持治療としての顆粒球・単球吸着除去療法(GMA) ; 本邦発の新しいエビデンスを指した多施設共同研究に向けて

松本譽之、○福永 健、中村志郎、樋田信幸、應田義雄、飯室正樹、武田直久、吉田幸治、横山陽子、上小鶴孝二、河野友彰、河合幹夫、野上晃司、小川智広 (兵庫医科大学内科学下部消化管科)

大腸カプセル内視鏡による潰瘍性大腸炎の病勢評価法の確立 一実用化への臨床研究に向けて一

○三好 潤¹、米野和明¹、木村佳代子¹、松岡克善¹、久松理一¹、金井隆典¹、日比紀文¹、細江直樹²、井上 詠²、緒方晴彦²、岩男 泰³ (慶應義塾大学消化器内科¹、慶應義塾大学医学部内視鏡センター²、慶應義塾大学病院子防医療センター³)

B-(3)-2 適切な免疫調節剤投与法、infliximab 二次無効例に対する対処(13:30~14:00)

総括 鈴木康夫 東邦大学医療センター佐倉病院内科

インフリキシマブ二次無効症例に対する増量の検討 一血中インフリキシマブ濃度の解析一

○鈴木康夫、山田哲弘 (東邦大学医療センター佐倉病院内科)

クローン病に対するアダリムマブと免疫調節剤併用療法の検討 : 進捗状況

○松本主之¹、仲瀬裕志²、渡辺憲治³、久松理一⁴、本谷 聡⁵、蘆田知史⁶、伊藤裕章⁷、鈴木康夫⁸、松本誉之⁹、松井敏幸¹⁰、日比紀文⁴、渡辺 守¹¹ (九州大学大学院病態機能内科学¹、京都大学医学部消化器内科²、大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学³、慶應義塾大学医学部消化器内科⁴、JA北海道厚生連札幌厚生病院 IBDセンター⁵、札幌徳州会病院 IBDセンター⁶、医療法人錦秀会インフュージョンクリニック⁷、東邦大学医療センター佐倉病院内科⁸、兵庫医科大学内科学下部消化管科⁹、福岡大学筑紫病院消化器内科¹⁰、東京医科歯科大学医学部消化器病態学¹¹)

新規多施設共同臨床研究の提案「アダリムマブと免疫調節剤併用中の寛解の患者における免疫調節剤休薬の検討」

○久松理一¹、松本主之²、仲瀬裕志³、渡辺憲治⁴、渡辺 守⁵、日比紀文¹ (慶應義塾大学医学部消化器内科¹、九州大学大学院消化器病態学²、京都大学医学部消化器内科³、大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学⁴、東京医科歯科大学消化器病態学⁵)

栄養状態が infliximab の治療効果に及ぼす影響 (各個研究・誌上発表)

○須見遼子¹、中島清一²、飯島英樹³、新崎信一郎³、中島佐知子³、水島恒和²、畑 伸顕⁴、和佐勝史⁵、伊藤壽記¹ (大阪大学大学院医学系研究科生体機能補完医学講座¹、大阪大学大学院医学系研究科消化器外科科学講座²、大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学講座³、大阪大学医学部附属病院臨床検査部⁴、大阪大学大学院医学系研究科小児成育外科学⁵)

B-③-3 術後 Infliximab 併用による寛解維持効果 (14:00~14:10)

総括 佐々木巖 東北大学大学院生体調節外科分野

術後 Infliximab 併用による寛解維持効果

佐々木巖¹、羽根田祥¹、小川 仁¹、渡辺和宏¹、鈴木秀幸¹、武林 亨²、渡辺 守³、○福島浩平⁴、岡崎和一⁵、吉岡和彦⁶、仲瀬裕志⁷、長沼 誠⁸、井上 詠⁸、日比紀文⁸、千葉俊美⁹、本谷 聡¹⁰、池田 篤¹¹、荒木靖三¹²、太田章比古¹³、亀岡信悟¹⁴、加賀谷尚史¹⁵、山本隆行¹⁶、吉川周作¹⁷、寄山敏男¹⁸、高木智久¹⁹、吉田 優²⁰、木内喜孝²¹、松田耕一郎²²、二見喜太郎²³、石黒 陽²⁴、後藤秀実²⁵、国崎玲子²⁶、木村英明²⁷、正木忠彦²⁷、伊藤裕章²⁸、渡邊聡明²⁹、上野義隆³⁰、鈴木康夫³¹、池内浩基³²、高橋賢一³³、舟山裕士³⁴、杉田 昭³⁴、荒木俊光³⁵、友次直輝³⁶、井上永介³⁷、樋渡信夫³⁸、飯島英樹³⁹、中村好宏⁴⁰、中村志郎⁴¹ (東北大学大学院生体調節外科科学分野¹、慶應義塾大学公衆衛生学²、東京医科歯科大学消化器病態学³、東北大学大学院消化管再建医工学・分子病態外科学分野⁴、関西医科大学内科学第三講座⁵、関西医科大学香里病院外科⁶、京都大学医学部附属病院内視鏡部⁷、慶應義塾大学医学部消化器内科⁸、岩手医科大学内科学講座⁹、JA北海道厚生連札幌厚生病院 IBDセンター¹⁰、北里大学医学部外科¹¹、大腸肛門病センターくるめ病院¹²、家田病院肛門科¹³、東京女子医科大学第二外科¹⁴、金沢大学消化器内科¹⁵、四日市社会保険病院外科¹⁶、医療法人健生会土庫病院奈良大腸肛門病センター¹⁷、鹿児島大学病院消化器内科¹⁸、京都府立医科大学大学消化器内科¹⁹、神戸大学大学院医学研究科内科学講座消化器内科学分野²⁰、東北大学高等教育開発推進センター保健管理センター²¹、富山県立中央病院内科²²、福岡大学筑紫病院外科²³、弘前大学医学部光学医療診療部²⁴、名古屋大学大学院医学研究科消化器内科学²⁵、横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患 (IBD) センター²⁶、杏林大学消化器・一般外科²⁷、医療法人錦秀会インフュージョンクリニック²⁸、帝京大学外科²⁹、広島大学光学医療診療部³⁰、東邦大学医療センター佐倉病院内科³¹、兵庫医科大学下部消化管外科³²、東北労災病院大腸肛門外科³³、横浜市立市民病院外科³⁴、三重大学消化管・小児外科³⁵、慶應義塾大学クリニカルリサーチセンター³⁶、北里大学臨床統計部門³⁷、いわき市立総合磐城共立病院³⁸、大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学³⁹、防衛医科大学数学教室⁴⁰、兵庫医科大学下部消化管内科⁴¹)

B-③-4 外科治療法の現状と工夫 (14:10~15:10)

総括 佐々木巖 東北大学大学院生体調節外科分野

①の術後療法に関する調査研究

○佐々木巖¹、福島浩平²、羽根田祥¹、渡辺和宏¹、鈴木秀幸¹、舟山裕士³、杉田 昭⁴、二見喜太郎⁵、畠山勝義⁶、藤井久男⁷、池内浩基⁸、小金井一隆⁴、飯合恒夫⁶、東大二郎⁵、吉岡和彦⁹、亀岡信悟¹⁰、渡邊聡明¹¹、楠 正人¹²、

木内喜孝¹³、渡辺 守¹⁴ (東北大学大学院生体調節外科学分野¹、東北大学大学院消化管再建医工学・分子病態外科学分野²、東北労災病院大腸肛門外科³、横浜市民病院外科⁴、福岡大学筑紫病院外科⁵、新潟大学消化器・一般外科⁶、奈良県立医科大学中央内視鏡・超音波部⁷、兵庫医科大学外科⁸、関西医科大学付属枚方病院外科⁹、東京女子医科大学第二外科¹⁰、帝京大学消化器外科¹¹、三重大学消化管・小児外科学¹²、東北大学大学院消化器内科学分野¹³、東京医科歯科大学大学院消化器病態学分野¹⁴)

クローン病の術後長期経過における Intestinal failure (Short bowel syndrome) についての調査研究と対策

佐々木巖¹、○渡辺和宏¹、羽根田祥¹、福島浩平²、舟山裕士³、高橋賢一³、杉田 昭⁴、渡邊聡明⁵、池内浩基⁶、亀岡信悟⁷、楠 正人⁸、畠山勝義⁹、藤井久男¹⁰、二見喜太郎¹¹、吉岡和彦¹²、渡邊昌彦¹³、根津理一郎¹⁴、水島恒和¹⁵
(東北大学大学院生体調節外科学分野¹、東北大学大学院分子病態外科学分野・消化管再建医工学研究分野²、東北労災病院大腸肛門外科³、横浜市立市民病院外科⁴、帝京大学医学部消化器外科⁵、兵庫医科大学外科学⁶、東京女子医科大学第二外科⁷、三重大学大学院 消化管・小児外科学、新潟大学大学院消化器・一般外科⁹、奈良県立医科大学中央内視鏡・超音波部¹⁰、福岡大学筑紫病院外科¹¹、関西医科大学付属枚方病院外科¹²、北里大学医学部外科¹³、大阪労災病院外科¹⁴、大阪大学病院消化器外科¹⁵)

クローン病における直腸肛門部生検の検討

○二見喜太郎、東大二郎、氷川裕二、石橋由紀子 (福岡大学筑紫病院外科)

就学期における潰瘍性大腸炎手術例の成績調査 (第2報) -外科系メンバーに対するアンケート調査-

藤井久男¹、○中川 正²、小山文一¹、佐々木巖³、池内浩基⁴、大毛広喜⁵、亀岡信悟⁶、河野 透⁷、楠 正人⁸、杉田 昭⁹、中島清一¹⁰、中村利夫¹¹、根津理一郎¹²、前田 清¹³、長谷川博俊¹⁴、畠山勝義¹⁵、二見喜太郎¹⁶、舟山裕士¹⁷、吉岡和彦¹⁸、渡邊聡明¹⁹、渡邊昌彦²⁰ (奈良県立医科大学病院附属中央内視鏡・超音波部¹、奈良県立医科大学消化器・総合外科²、東北大学大学院医学系研究科外科病態学生体調節外科学³、兵庫医科大学下部消化管外科⁴、広島大学病院消化器外科⁵、東京女子医科大学第二外科⁶、旭川医科大学第二外科⁷、三重大学大学院消化管・小児外科学⁸、横浜市立市民病院外科⁹、大阪大学医学部附属病院消化器外科¹⁰、浜松医科大学外科学第二講座¹¹、大阪労災病院外科¹²、大阪市立大学大学院腫瘍外科¹³、慶應義塾大学医学部外科¹⁴、新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器・一般外科¹⁵、福岡大学筑紫病院外科¹⁶、東北労災病院外科・大腸肛門外科¹⁷、関西医科大学香里病院外科¹⁸、帝京大学外科¹⁹、北里大学医学部外科²⁰)

潰瘍性大腸炎に合併した肛門病変についての調査研究 -肛門科を中心とした全国アンケート調査結果-

藤井久男¹、○小山文一¹、中川 正²、佐々木巖³、池内浩基⁴、大毛広喜⁵、亀岡信悟⁶、河野 透⁷、楠 正人⁸、杉田 昭⁹、中島清一¹⁰、中村利夫¹¹、根津理一郎¹²、前田 清¹³、長谷川博俊¹⁴、畠山勝義¹⁵、二見喜太郎¹⁶、舟山裕士¹⁷、吉岡和彦¹⁸、渡邊聡明¹⁹、渡邊昌彦²⁰ (奈良県立医科大学病院附属中央内視鏡・超音波部¹、奈良県立医科大学消化器・総合外科²、東北大学大学院医学系研究科外科病態学生体調節外科学³、兵庫医科大学下部消化管外科⁴、広島大学病院消化器外科⁵、東京女子医科大学第二外科⁶、旭川医科大学第二外科⁷、三重大学大学院消化管・小児外科学⁸、横浜市立市民病院外科⁹、大阪大学医学部附属病院消化器外科¹⁰、浜松医科大学外科学第二講座¹¹、大阪労災病院外科¹²、大阪市立大学大学院腫瘍外科¹³、慶應義塾大学医学部外科¹⁴、新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器・一般外科¹⁵、福岡大学筑紫病院外科¹⁶、東北労災病院外科・大腸肛門外科¹⁷、関西医科大学香里病院外科¹⁸、帝京大学外科¹⁹、北里大学医学部外科²⁰)

クローン病術後症例からの内視鏡的再燃の検討

○花井洋行¹、飯田貴之¹、池谷賢太郎¹、竹内 健¹、阿部仁郎¹、杉本 健²、渡辺文利¹ (浜松南病院消化器病・IBDセンター¹、浜松医科大学第一内科²)

B-(3)-5 外科治療法の子後 (15:10~15:20)

総括 杉田 昭 横浜市立市民病院外科

クローン病人工肛門造設例の経過と合併症の検討 (多施設共同研究) -合併症発生の危険因子、直腸切断術の子後

の検討

○杉田 昭¹、小金井一隆¹、二見喜太郎²、池内浩基³、木村英明⁴、池田 篤⁵、根津理一郎⁶、大毛広喜⁷、水島恒和⁸、前田 清⁹、河野 透¹⁰、中村和夫¹¹、藤井久男¹²、舟山裕士¹³、飯合恒夫¹⁴、渡邊聡明¹⁵、篠崎 大¹⁶、佐々木巖¹⁷ (横浜市立市民病院外科¹、福岡大学筑紫病院外科²、兵庫医科大学下部消化管外科³、横浜市大市民総合医療センター炎症性腸疾患センター⁴、北里大学東病院消化器外科⁵、大阪労災病院外科⁶、広島大学外科⁷、大阪大学消化器外科⁸、大阪市立大学腫瘍外科⁹、旭川医科大学外科¹⁰、浜松大学第2外科¹¹、奈良県立医科大学中央内視鏡超音波部¹²、東北労災病院大腸肛門外科¹³、新潟大学消化器・一般外科¹⁴、帝京大学外科¹⁵、東京医科学研究所外科¹⁶、東北大学生体調節外科¹⁷)

B-(4) 診療に伴う合併症/副作用および特殊型への対策プロジェクト

B-(4)-1 潰瘍性大腸炎合併サイトメガロウイルス腸炎および血栓症 (15:20~15:40)

総括 鈴木康夫 東邦大学医療センター佐倉病院内科

潰瘍性大腸炎に合併するサイトメガロウイルス(CMV)再活性化症例に対する前向き研究

鈴木康夫¹、石黒 陽²、仲瀬裕志³、大宮美香⁴、平井郁仁⁵、池田圭祐⁶、山田哲弘¹、松岡克善⁷、福知 工⁸、○長沼 誠⁹、渡辺 守⁹ (東邦大学医療センター佐倉病院内科¹、弘前大学光学医療診療部²、京都大学消化器内科³、関西医科大学香里病院消化器内科⁴、福岡大学筑紫病院消化器科⁵、福岡大学筑紫病院病理⁶、慶應義塾大学医学部消化器内科⁷、大阪済生会中津病院消化器内科⁸、東京医科歯科大学消化器病態学⁹)

炎症性腸疾患における血栓症発症の危険因子に関する研究 -単施設後ろ向き研究の結果からみた多施設共同研究の提案-

○藤谷幹浩¹、伊藤貴博¹、安藤勝祥¹、稲場勇平¹、岡本耕太郎¹、上野伸展¹、富永素矢¹、盛一健太郎¹、田邊裕貴¹、前本篤男^{2,3}、蘆田知史^{2,3}、高後 裕¹ (旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野¹、旭川医科大学消化管再生修復医学講座²、札幌東徳州会病院 IBD センター³)

B-(4)-2 炎症性腸疾患にともなう感染症の現状とその対策 (15:40~16:00)

総括 岡崎和一 関西医科大学 消化器・肝臓内科

我が国における炎症性腸疾患の急性増悪・再燃因子の前向き実態調査 (特に感染症との関連性)

岡崎和一¹、○大宮美香¹、深田憲将¹、渡辺 守²、長堀正和²、藤山佳秀³、千葉 勉⁴、高後 裕⁵、松井敏幸⁶、松本誉之⁷、鈴木康夫⁸、花井洋行⁹、飯田貴之⁹、清水誠治¹⁰、藤井久男¹¹、坪内博仁¹²、平田一郎¹³、藤田浩史¹³、渡辺憲治¹⁴、田中信治¹⁵、内藤裕二¹⁶、三浦総一郎¹⁷、石原俊治¹⁸、大川清孝¹⁹、加藤 順²⁰、北野厚生²¹、佐々木誠人²²、城 卓志²³、高添正和²⁴、光山慶一²⁵、本谷 聡²⁶、加賀谷尚史²⁷、山本章二郎²⁸、松本主之²⁹、石黒 陽³⁰、亀岡信悟³¹、小林清典³²、勝野達郎³³、後藤秀実³⁴、谷田 諭³⁴、鈴木健司³⁵ (関西医科大学内科学第三講座¹、東京医科歯科大学消化器病態学²、滋賀医科大学内科学講座消化器内科³、京都大学大学院医学系研究科消化器内科学⁴、旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野⁵、福岡大学筑紫病院消化器科⁶、兵庫医科大学内科学下部消化管科⁷、東邦大学医療センター佐倉病院内科⁸、浜松南病院消化器病・IBDセンター⁹、JR大阪鉄道病院消化器内科¹⁰、奈良県立医科大学中央内視鏡・超音波部¹¹、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科消化器疾患・生活習慣病学分野¹²、藤田保健衛生大学消化管内科¹³、大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科¹⁴、広島大学病院内視鏡診療科¹⁵、京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科¹⁶、防衛医科大学校内科学講座¹⁷、島根大学内科学第二講座¹⁸、大阪市立十三市民病院¹⁹、和歌山県立医科大学第二内科²⁰、若草第一病院²¹、愛知医科大学消化器内科²²、名古屋市立大学消化器代謝内科²³、社会保険中央病院 IBD センター²⁴、久留米大学医学部内科学講座²⁵、札幌厚生病院 IBD センター²⁶、金沢大学消化器内科²⁷、宮崎大学内科学講座消化器血液学分野²⁸、九州大学病態機能内科学²⁹、弘前大学光学医療診療部³⁰、東京女子医科大学第二外科³¹、北里大学東病院消化器内科³²、千葉大学医学部附属病院消化器内科³³、名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科学³⁴、新潟大学医歯学総合病院第三内科³⁵)

炎症性腸疾患患者におけるインフルエンザワクチンの免疫原性・安全性・有効性に関する研究（中間報告2）

～「予防接種に関するワクチンの有効性・安全性等についての分析疫学研究：廣田班」との共同研究～

○山上博一¹、大藤さとこ²、伊藤良恵¹、鎌田紀子¹、十河光栄¹、渡辺憲治¹、荒川哲男¹、廣田良夫²（大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学¹、公衆衛生学²）

B-(4)-3 炎症性腸疾患に合併するリンパ増殖性疾患の現状（16:00～16:10）

総括 岡崎和一 関西医科大学 消化器肝臓内科

我が国におけるIBD患者のリンパ増殖性疾患の現状に関する実態調査 第4報

岡崎和一¹、○深田憲将¹、松下光伸¹、大宮美香¹、渡辺守²（関西医科大学内科学第三講座¹、東京医科歯科大学消化器病態学²）

B-(4)-4 炎症性腸疾患患者の妊娠出産における現状とその対策（16:10～16:20）

総括 三浦総一郎 防衛医科大学校内科学講座

妊娠出産の転帰と治療内容に関する多施設共同研究の状況

三浦総一郎¹、○穂苺量太¹、高本俊介¹、渡辺知佳子¹、長沼誠²、渡辺守²、松岡克善³、日比紀文³、本谷聡⁴、樋田信幸⁵、松本譽之⁵、国崎玲子⁶、高橋宏和⁶、吉村直樹⁷、飯塚文瑛⁸、藤盛健二⁹、猿田雅之¹⁰、谷田諭史¹¹、藤山佳秀¹²、内藤裕二¹³、渡辺憲治¹⁴、飯島英樹¹⁵、上野義隆¹⁶、田中信治¹⁶、石原俊治¹⁷、杉田昭¹⁸、池上幸治¹⁹、松本主之¹⁹、仲瀬裕志²⁰、岡崎和一²¹、石黒陽²²、松本史弘²³、嵩山敏男²⁴、小林清典²⁵、横山薫²⁵（防衛医科大学校内科学¹、東京医科歯科大学消化器内科²、慶應義塾大学消化器内科³、札幌厚生病院IBDセンター⁴、兵庫医科大学内科学下部消化管科⁵、横浜市立大学消化器内科⁶、社会保険中央総合病院内科⁷、東京女子医科大学IBDセンター（消化器内科）⁸、埼玉医科大学消化器肝臓内科⁹、慈恵会医科大学附属病院消化器・肝臓内科¹⁰、名古屋市立大学病院消化器内科¹¹、滋賀医科大学消化器内科¹²、京都府立医科大学消化器内科¹³、大阪市立大学病院消化器内科¹⁴、大阪大学医学部附属病院消化器内科¹⁵、広島大学病院内視鏡診療科¹⁶、島根医科大学消化器内科¹⁷、横浜市立市民病院外科¹⁸、九州大学病院消化器内科¹⁹、京都大学消化器内科²⁰、関西医科大学消化器肝臓内科²¹、弘前大学光学医療科²²、さいたま医療センター消化器科²³、鹿児島大学医学部附属病院消化器内科²⁴、北里大学東病院消化器内科²⁵）

B-(4)-5 高齢発症炎症性腸疾患患者の治療指針の必要性（16:20～16:30）

総括 三浦総一郎 防衛医科大学校内科学講座

高齢者炎症性腸疾患診療の現状把握 過去の入院患者に関する多施設へのアンケート調査結果（第2報）と前向き多施設共同研究の提案

三浦総一郎¹、○高本俊介¹、穂苺量太¹、渡辺知佳子¹、田中浩紀¹、本谷聡²、鈴木健司³、松田圭二⁴、渡邊聡明⁴、猿田雅之⁵、吉村直樹⁶、長堀正和⁷、渡辺守⁷、松岡克善⁸、日比紀文⁸、横山薫⁹、小林清典⁹、谷田諭史¹⁰、馬場重樹¹¹、藤山佳秀¹¹、内藤裕二¹²、仲瀬裕志¹³、山上博一¹⁴、渡辺憲治¹⁴、飯島英樹¹⁵、樋田信幸¹⁶、松本譽之¹⁶、永井健太¹⁷、上野義隆¹⁷、田中信治¹⁷、石原俊治¹⁸、池上幸治¹⁹、松本主之¹⁹、高橋晴彦²⁰、松井敏幸²⁰、二見喜太郎²¹、瀬戸山仁²²、藤田浩²²、坪内博仁²²、松本文弘²³（防衛医科大学校内科学講座¹、札幌厚生病院IBDセンター²、新潟大学医学部第3内科³、帝京大学医学部外科⁴、慈恵会医科大学附属病院消化器・肝臓内科⁵、社会保険中央病院内科⁶、東京医科歯科大学消化器内科⁷、慶應義塾大学医学部消化器内科⁸、北里大学東病院消化器内科⁹、名古屋市立大学病院消化器内科¹⁰、滋賀医科大学消化器内科¹¹、京都府立医科大学消化器内科¹²、京都大学医学部附属病院消化器内科¹³、大阪市立大学病院消化器内科¹⁴、大阪大学医学部附属病院消化器内科¹⁵、兵庫医科大学内科学下部消化管科¹⁶、広島大学病院内視鏡診療科¹⁷、島根医科大学消化器内科¹⁸、九州大学病院消化器内科¹⁹、福岡大学筑紫病院消化器内科²⁰、福岡大学筑紫病院外科²¹、鹿児島大学医学部附属病院消化器内科²²、自治医科大学附属さいたま医療センター消化器科²³）

事務局連絡

（16:40 終了予定）

懇親会 17:00～

Ⅲ. 研究報告(続)

p-C) 基礎プロジェクト

G-(1) 診療に有用なバイオマーカー開発

G-(1)-1 免疫関連バイオマーカーの開発

総括 竹田 潔 大阪大学大学院医学系研究科 (9:00~9:32)

クローン病腸管線維化における IL-17 および HSP47 の役割

○松浦 稔、仲瀬裕志、千葉 勉 (京都大学消化器内科)

臨床応用に向けた血清ガラクトース欠損 IgG 検出系の開発

○新崎信一郎¹、飯島英樹^{1,2}、辻井正彦¹、竹原徹郎¹、三善英知² (大阪大学大学院医学系研究科・消化器内科学¹、大阪大学大学院機能診断科学²)

マウス DSS 腸炎モデルを用いた smad2/3 リン酸化蛋白発現による幹細胞マーカーの探索

岡崎和一、○岸本真房、高橋 悠、中島 淳、福井寿朗 (関西医科大学内科学第三講座)

大腸上皮および単球細胞における amphiregulin-regulating protein (ARP)36 による TNF α 放出制御

○谷田諭史、城 卓志 (名古屋市立大学大学院医学研究科消化器代謝内科学)

総括 千葉 勉 京都大学消化器内科 (竹田 潔) (9:32~10:04)

自然免疫系による腸管炎症の制御機構

○竹田 潔、香山尚子 (大阪大学大学院医学系研究科)

腸管の慢性炎症における aberrant lymphocyte migration に対する Autotaxin/Lisospholipase D の関与と阻害効果

○八月朔日秀明、穂苅量太、三浦総一郎 (防衛医科大学校内科学)

炎症性腸疾患におけるセロトニン関連遺伝子発現の検討

○石原俊治、多田育賢、福庭暢彦、岡 明彦、楠 龍策、森山一郎、結城崇史、川島耕作、石原俊治 (島根大学医学部内科学講座第二)

大腸における Rorgt 依存的 Innate Lymphoid cells (ILCs) の機能解析及び炎症制御能の解明

○木村佳代子¹、林 篤史¹、筋野智久¹、三上洋平¹、水野慎大¹、半田一己¹、松本淳宏¹、松岡克善¹、佐藤俊朗¹、久松理一¹、金井隆典¹、日比紀文¹、緒方晴彦² (慶應義塾大学消化器内科¹、慶應義塾大学医学部内視鏡センター²)

G-(1)-2 臨床的バイオマーカーの開発 (10:04~10:20)

総括 日比紀文 慶應義塾大学医学部消化器内科

難治性潰瘍性大腸炎における Th-1 反応からみたバイオマーカー検索

○石黒 陽¹、櫻庭裕丈²、蓮井圭介²、福田眞作^{1,2} (弘前大学医学部附属病院光学医療診療部¹、弘前大学医学部消化器血液内科²)

CAP 治療効果予測因子としての温感の有用性

○飯塚政弘¹、江藤 武¹、相良志穂¹、佐賀夏来²、沼田友華²、大久保範子²、児玉健太²、柳原 悠²、大沢元和²、小林久益²、熊谷 誠² (秋田赤十字病院消化器科・附属あきた健康管理センター¹、秋田赤十字病院臨床工学課²)

G-(1)-3 疾患特異的バイオマーカーの開発 (10:20~10:44)

総括 坪内博仁 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科消化器疾患・生活習慣病学

潰瘍性大腸炎関連ペプチド human neutrophil peptide の生理的/病態生理的役割の解明

坪内博仁¹、○嵯山敏男¹、田口宏樹¹、前田拓郎¹、橋元慎一¹、沼田政嗣¹、藤田 浩¹、宇都浩文¹、井戸章雄¹、

児玉眞由美²、大井秀久³ (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 消化器疾患・生活習慣病学¹、宮崎医療センター病院 消化器肝臓病センター²、今村病院消化器内科³)